

福島のおゆき国会日誌

<国土交通委員会 住宅局長答弁を修正>

20 日に行われた国土交通委員会での「建築物省エネ法」の審議で、私の質疑に対して政府の答弁が行き詰ってしまったため審議は打ち切れ、24 日仕切り直しの延長戦が開かれました。

淡野博久 国土交通省住宅局長は、前回のエネルギー消費性能表示制度が「自主的な努力だけど、表示しない事業者には罰則がかかる」という矛盾に満ちた答弁を訂正し、①表示は義務ではない。②中小零細事業者などは直ちに勧告などの対象にはならない。③大手住宅販売事業者などには表示を促していく、という答弁をいたしました。

私は、本来は表示を義務化すべきであるが、多数の零細住宅販売・賃貸業者がいる現状では、当面義務付けは行わず、段階的に義務化をしていく行政の対応は理解できることを指摘し、法施行後の状況を見ながら義務化に向けた検討を行うべきことを大臣に求めました。齊藤鉄夫 国土交通大臣は、「表示の義務化も含めより実効性のある仕組みに見直しを検討してまいります」と極めて前向きな答弁をしてくれました。今回の委員会での審議を通じて、法的な整理ができ、今後の方向性も確定することができたものと思います。

国会は、立法府。とりわけ国民の自由や権利を制限したり、罰則をかけるような権力の行使に関する条文は、国民の負託を受けた国会議員として、慎重に議論する必要があると考えます。今回は、委員長や理事各位のご協力を得て、そのような審議ができたものと自負しております。

<「最近の JR 東日本、何かおかしくない？」と鉄ちゃん大臣に質す>



24 日の国土交通委員会では、「最近の JR 東日本、何かおかしくない？」という質疑をいたしました。

2015 年に常磐線特急が全席指定席となり、実質値上げにもかかわらず、「全席着席できるサービス」などと言い繕うあたりから、「なんか変だな」と思い始めました。水戸線がワンマン運転になりラッシュ時に遅れが出たり、常磐線各停が土浦駅折り返し運転になったり、乗客サービスが低下する一方です。

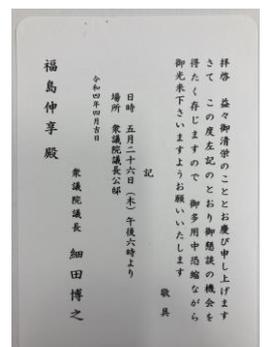
安全面でも、つい先日水郡線の静駅で、車掌を置いたまま列車が発車して、歩いて追いかけたことを取り上げたところ、委員会室内は爆笑となりました。でも、笑い事ではありません。最近に変電所火災で京浜東北線が 7 時間もストップしたり、重大な事故や細かな車両トラブルなどが頻発しております。

こうしたことは、近年の険悪な労使関係など JR 東日本社内には問題があるのではないかと齊藤鉄夫 国土交通大臣に問題提起をいたしました。大事故が起きる前に、業務監査などの場を通じてチェックすることが必要です。

<衆院議長主催懇親会 辞退>

26 日夜は、細田博之衆議院議長のご招待により各党各会派の国対委員長との懇談会が開かれることになり、有志の会を代表して私が出席する予定でした。

しかしながら、最近の議長のセクハラに関する報道だけでなく、「100 万円しかもらっていない」発言、さらに議長として最も公平性中立性が求められるべき選挙制度に關与する不適切な発言など、三権の長たる議長にふさわしい人物とは認められません。招待に応じて豪華な食事をいただくわけにはいかないと判断し、せっかく小会派にまでご配慮していただいたのですが、欠席することにいたしました。



*委員会質疑や有志の会の同僚議員との対談などが YouTube でご連いただけます。こちらの QR コード❶を読み込みください

衆議院議員 福島伸享事務所

【国会事務所】〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 419 号室
TEL 03-3508-7262 FAX 03-3508-3532 メール h19293@shugiin.go.jp

